

2023 年度 YOKOHAMA-SXIP  
派遣プログラム参加学生の声

氏名	金井史礼		
所属	経済学部	学年	3 年
派遣先大学	Griffith 大学		
期間	2024 年 3 月 1 日～3 月 10 日		

派遣先大学での研修や語学面で学んだこと

Griffith 大学では経済学部の授業を 3 つ聴講しました。どの授業経済学的に特段難しい内容ではありませんでしたが、環境問題や貿易についてのオーストラリア目線の話は非常に新鮮でした。

また語学面でも、現地の方との会話を通して、英語で思考して英語で説明する良い経験になったと思います。

派遣先の国の生活面、文化や社会的なこと、学んだこと

ゴールドコーストでホームステイを行いました。日本よりも自由な雰囲気を感じました。仕事はまじめにやりつつ、オフの日はゆっくり起床して昼間からビールを飲んだり、好きな時にシャワーを浴びたりと、自分のやりたいことを満喫している印象でした。

また他人との距離感も日本より近く、困っている人に声をかけ手助けをすることをためらわない人が年齢問わず多いと感じました。

来年度プログラム参加を考えている学生へ

海外へ渡航した経験の有無にかかわらず、また英語力の自信の有無にかかわらず、積極的に参加することをお勧めします。渡航経験がなくても先生や同じ学生の仲間とともに行動ができるのは安心です。また英語力についても、現地の方は我々のつたない英語でも真剣に聞いてくれますし、少しでも滞在することで英語のスピーキング能力やリスニング能力は大きく伸びると思います。



Griffith 大学



Tamborine Mountain

2023 年度 YOKOHAMA-SXIP  
派遣プログラム参加学生の声

氏名	中根ほのか		
所属	経済学部	学年	4
派遣先大学	グリフィス大学ゴールドコースト校		
期間	2024 年 3 月 1 日～2024 年 3 月 10 日		

派遣先大学での研修や語学面で学んだこと

大学で三つ授業を受けました。どの授業もタームの始まりだったため、授業のイントロダクションやその授業の基礎的な事を学びました。最も印象的だったのは昨年の秋学期から始まった sustainable economics という授業でした。経済の基礎を学びながら今までの経済だけではサステナブルではないという観点から話が進んでいました。このような授業に興味がありましたが、横国では学ぶことができなかつたため今回の研修を得て触れることができて良かったと思います。

派遣先の国の生活面、文化や社会的なこと、学んだこと

初めてホームステイを経験しました。ホームステイ先の家族は 10 歳以下の子供が 4 人おり、子供と関わりながら、現地の子育ての仕方を知ることができました。また、家族がサモアから移住していたので、サモアの文化の話も聞くことができました。大学には様々な人種の人があり、先住民のアボリジニや近くの諸島に住む人々をリスペクトする意味で大学にその方たちを象徴する旗が掲げられていました。このことからそれぞれの人種や出身を尊重する文化があると感じました。

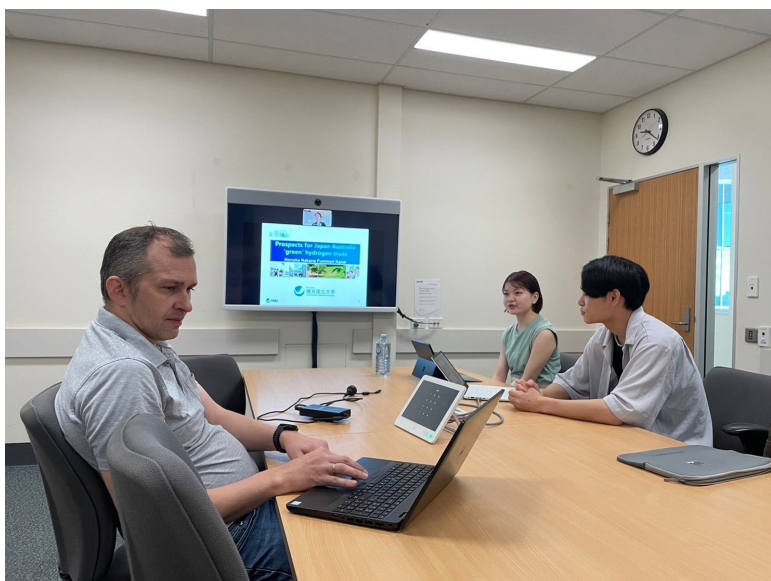
来年度プログラム参加を考えている学生へ

短い期間の研修ですが、一週間で多くの事を学ぶことができます。海外の授業を受ける経験、他の国の家族と過ごす経験などしてみたい方はとてもおすすめです。授業や生活を通してサステナビリティについても学ぶことができるため、海外のサステナビリティについて興味がある方にもおすすめしたいです。

(写真貼り付け欄)



LGBTQ や多様な人種の象徴



最終プレゼンテーションの様子



Varisty Lake でのごみ拾い



ホームステイ先の子供達